



世界が掲げる共通目標を考える

「公益とSDGs 連続講座」(全3回)を開催いたしました！



第1回

「公益とSDGs・庄内とSDGs」

令和3年度鶴岡市地域課題解決事業として「公益とSDGs 連続講座」(全3回)を開催いたしました。11月1日(月)に開催された第1回では、「公益とSDGs・庄内とSDGs」と題して、慶應義塾大学商学部の梅津光弘教授とバンティング・ティモシー特任助教が講演。梅津教授からは「SDGs 発想までの経緯と、そこに込められた思い」を、バンティング助教からは「SDGs は誰のためにあるのか」「ニュージーランドと日本の現状」「庄内に暮らす私たちにできること」等についてお話しいただきました。「SDGs」の成り立ちを知ることができた、これまでと異なる視点からSDGsを学びきっかけとなったとの感想が寄せられました。

第2回

「貧しさとは～世界と日本の視点から～」

第2回(11月29日(月)開催)では、本学の澤邊みさ子教授と東江日出郎准教授が講演。澤邊教授は「日本の貧困問題、子どもと女性の貧困率、ひとり親家庭の現状」「コロナ禍の就業者数の推移データからは、特に女性への影響が深刻である」とお話しがありました。東江准教授は『「貧困」の定義、『絶対的貧困』、貧困と飢餓について発展途上国の状況と要因』を講義しました。SDGsの目標1「貧困をなくそう」と、目標2「飢餓をゼロ」は、類似しています。貧困問題について私たちにできること(寄付、ボランティア活動等、企業取り組み、教育)、真剣に途上国での貧困や飢餓の撲滅に必要なことをまずは知ることから始めましょう！と締めくくりました。本学学部生からの参加も多く、分野横断したテーマに積極的に質問が寄せられました。



第3回

「権利とは～子どもと女性～」

第3回(12月13日(月)に開催)は、今年度最後の回とあって、多くの方にご参加いただきました。本学の伊藤眞知子名誉教授、灰谷和代准教授が講演。伊藤名誉教授は「ジェンダー格差大国の日本と、更にコロナ禍で顕わになったジェンダー課題」を述べ、「人権の普遍性と女性の権利をどのようにとらえるか」と投げかけました。灰谷准教授からは「世界の子どもの状況と日本の子どもの現状と課題」、そして「子どもの権利を守るために地域・個人ができる必要な支援」について講義しました。お互いの専門分野からSDGsについて討議しました。参加者からは、身近な子どもに起きている課題等について質問が多数寄せられ、関心度の高さが感じられました。



コーディネーター

玉井 雅隆 准教授から

～SDGs をキー概念として意見交換することによる学びの広がり～

今回、鶴岡市からご支援を受けて連続講座を開催するに至り、コーディネーターを務めることになりました。本来ですと、このようなシンポジウムは対面が基本です。昨今の情勢から、対面とオンラインを活用したハイブリッド形式となりました。しかし、パネリスト、聴衆ともにオンラインならではの遠隔地からの参加が容易なものとなり、もはや学問の分野においても実質的な距離は問題とならないことが明白なものとなりました。

今回は大学院生、一般の方のみならず本学学部生なども多数受講しましたが、彼ら・彼女らから感想を聞いてみると、自分の興味関心のある分野のみならず、それまで知らなかった分野に関する新たな知的発見があったということでした。おそらく多くの受講者の方々も同じ感想を抱かれたと思いますが、私もその例外ではなく、コーディネーターとして自分の専門ではない分野のお話を伺うことで、自分の研究にもフィードバックできるような内容であったかと思えます。

SDGs講座は現在花盛りであり、あちこちで開催されています。本学ならではの、藩政時代から致道館といった知の拠点を有する鶴岡ならではのSDGs連続講座として、専門分野の全く異なる二人の研究者の話を各々掛け合わせ、組み合わせ意見を交換し合う形にしました。大学の研究者は専門外に関しては、普段目にする機会はありません。しかし、このようなSDGsをキー概念として専門性をリンクさせ、意見交換することで様々な方向に話が広がったのではないかと、思います。

来年度以降も、SDGs連続講座は続きます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。また、末筆ながら鶴岡市並びにご登壇いただいた先生方、そして聴衆の皆様へ心より御礼申し上げます。



次号 大学院 NewsLetter2022.1予告【開催の様子】

- ・ スクールソーシャルワーカーシンポジウム(2021.12.5開催)
- ・ 知の拠点庄内シンポジウム Life×Science2030 庄内 Vision(2021.12.12開催)
- ・ 株式会社プロトソリューション様との包括連携協定の取り組み

授業見学は随時、受け付けています。お気軽にご相談ください！

東北公益文科大学 大学院事務室（鶴岡キャンパス）

住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号

電話 0235-29-0555 メール gs@koeki-u.ac.jp

ホームページ <https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>



ホームページも
ぜひチェック
ください！